

# 韓 国 語

## 第1 高等学校教科担当教員の意見・評価

### 1 前 文

学習指導要領では、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにすることを目標にしている。また、共通テストの問題作成方針には、「高等学校学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を踏まえ、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力などを発揮して解くことが求められる問題を重視」し、問題を作成するとある。上記に照らし合わせたとき、「センター試験」から「共通テスト」と名称が変更されて以降、共通テスト「韓国語」において、おおよそ全ての問題でその趣旨に沿った出題がされているが、幾つかの問題では趣旨に合わない出題がされている。特に、第1問Aの「発音問題」及びBの問題は趣旨から離れた出題と言える。もちろん、発音やその規則、語彙、文法、表現を、それぞれ学ぶことは重要であるが、時間や問題数が限られている「共通テスト」において、その知識だけを取り出して問うことが「学習指導要領」の目標に合致しているのか、「共通テスト」の問題作成方針に則った出題と言えるのか、今一度考えていただきたい。

例年通り本委員会では、平均点を基にした評価は行わず、「高等学校で4～5単位を3年間学習した生徒」が受験することを想定して各問題の評価を行う。また、その際の難易度の基準として、中級水準となる、韓国語能力試験（TOPIK）のⅡ（3～4級）及び「ハングル」能力検定試験の3級～準2級レベルを想定していることをここに明記する。

なお、評価に当たっては、14 ページに記載の8つの観点により、総合的に検討を行った。

### 2 試験問題の内容・範囲等

本項目では、前文の「高等学校で4～5単位を3年間学習した生徒」の学習到達度を測ることのできる問題であるかどうかを判断した。また、紙面の制限上、第1問については、適切な問題とは言えない問題を中心に上げることとする。

#### 第1問

##### A 発音に関する問題

前文で指摘した通り、第1問Aの発音に関する出題について、今一度検討していただきたい。以下、各問についてその理由を述べていく。

問1 「생산량」を[생산량]と発音するという知識は、学習範囲を逸脱しており、かつ、その知識のみを問うこと、また、その発音を聞いたことがあるかどうかという経験の有無を問うている問題が、果たして思考力、判断力をはかる出題と言えるだろうか、甚だ疑問である。

問2 用言に「-고」という語尾をつけたときに有声音化するのか濃音化するのかという知識を問う問題。正しい発音をすることは外国語を学習する際には重要な学習項目ではあるが、発音をすることだけが学習の目標にはなりえない。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けることが目標なのである。

繰り返しになるが、200点満点中の8点は決して小さい点数ではなく、合否が変わりうる点

数差である。その点数の配点で、第1問Aのような、ただ発音の違いのみを問うている問題が、果たして共通テストの出題としてふさわしいか、今一度考えていただきたい。

B 適切な助詞、語尾、語彙を選択する問題

問2の正答④の「잡고」と問3の誤答の④の「꾸러」は、学習範囲外の語彙や表現で良問とは言えない。問2、問3以外は学習範囲内の語彙や文法であるが、その知識のみを問う問題の出題には疑問が残る。例として次の2問について言及したい。

問3の「아침밥을 차리다 (朝ご飯を用意する)」という語彙の知識だけを取り出して問うことで、果たしてコミュニケーション能力を評価できるのか疑問である。また、問4も同じく文法の知識のみを取り出して問うている問題であるが、第4問の間7のように長文の中で問うことで思考力、判断力を問う問題になりうるのではないだろうか。

C 日本語から韓国語への翻訳で、語彙力、文法力、表現力を問う問題

日本語から韓国語への翻訳の問題は以前出題されたことがあるが、今回はそれに加え、語順整序も問う出題で、さらに、直訳の誤答も混ざっているので、難易度は少し高くなったと言える。直訳では不自然な韓国語と直訳ではない自然な韓国語を見極めなければならず、日本語の国語力や思考力も問われる問題である。全て学習範囲内の語彙で良問と言える。

第2問 比較的長い会話文を読んで、空欄に入れる適切な表現を選んだり、会話文の内容を把握したりする問題

A 友人二人が別の友人を待っているときに交わされた対話文。以下に各問を細かく見ていく。

問1 対話文における空欄に入る語尾表現を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 前後の文脈を読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 前後の対話文から空欄に入れられない文を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 下線部⑭の「여기 있다 (ここにあった)」の具体的に何があったのかを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問5 本文の内容と合うものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

B 記者と作家のインタビュー形式の対話文である。語彙、表現、場面設定、テーマともに適当であると言える。以下に各問を細かく見ていく。

問1 適当な対話文における空欄に入る語句を選ぶ問題。前後の内容が読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 下線部⑰の「세 가지 노력 (3つの努力)」の具体例として適当でないものを選ぶ問題。誤答③の『論語』や『老子』は、高校生として知っておかなければならない知識かもしれないが、他教科の知識であり、外国語の到達度をはかる問題としては、固有名詞ではなく、「中国で紀元前に書かれた書物を読むこと」等のように表現した方が望ましいのではないだろうか。問題を解決するのに、複数教科にまたがる知識が必要であることは充分認識しているが、共通テスト「外国語」の問題を解くのに、『論語』や『老子』＝古典という知識がなければ解けない問題は適切な問題とは言い難い。

問3 適当な対話文における空欄に入れられないものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 本文の内容と一致する文章を選ぶ問題。対話文全体の文意が把握できれば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

第3問 共通テスト以降，図表やイラストを使用した出題が多くなされ，今年度も引き続き出題された。

A 図表やグラフが何を表しているか読み解く問題

問1 提示された図の内容を読み取る問題。各年齢層の趣味のランキングが表として提示されており，テーマも簡易で良問と言える。

問2 モバイル機器の画面の表示から情報を読み取り，その内容と一致している文を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で良問と言える。

B 奨学金の案内から必要な情報を読み取る問題

問1 案内の中の空欄に入れる語句を選ぶ問題。前後の内容が読み取れば解ける問題。学習範囲内の語彙や語法で良問と言える。

問2 本文の内容と日本語で書かれている選択肢が一致するものを選ぶ問題。本文は学習範囲内の語彙や語法で良問と言える。

C インターネット・ショッピングを通じて行われたカーテン業者と顧客とのメール通信が課題文となっている。使用されている語彙や表現及び長さ，形式とも適当な問題である。各問について詳しく見ていく。

問1 カーテン業者からの返信をもとに幾つかの発注ケースに対する支払い金額を算出する問題。計算能力のみを問うのであれば不適切な問題であるとも言えるが，文章の内容を理解した上で，単純な計算処理を求めているので，良問と言える。

問2 文章の内容と一致する文を選ぶ問題。良問。

問3 顧客からの返信メールを読んで，発注内容（バラの刺繍の絵柄）を選ぶ問題。茎と葉のデザインの発注内容を正確に読み取る必要がある。良問。

第4問 韓国社会におけるコーヒーの需要と，大衆文化として定着するまでの経緯を述べたエッセイ。全体に分かり易い文章で，テーマの設定，長さ，語彙，文体とも課題文として適切と言える。また，一つの長文問題に対する各問が以前より増え10問になると同時に，二つあった長文問題が，一つに圧縮された。これは，全体の配分を考えると望ましいものである。各問について詳しく見て行く。

問1 文章に使用された漢字語の1漢字と同じ漢字が使われている漢字語を選ぶ問題。前回までは大問1の中で漢字語の語彙知識のみを問う問題であったが，文中に挿入することで自然な形での設問となった。いずれの漢字語も学習範囲内で良問と言える。

問2 提示された文章を適当な場所に挿入する問題。良問。

問3 下線部㉓「韓国社会につくられたコーヒー文化」の具体例として適当でないものを選ぶ問題。適当な問題と言える。

問4 文章中に入れる適当な語彙を選ぶ問題。正答는어김없이(必ず)。正答の語彙は学習範囲内と言えるが，誤答の語彙は学習範囲外のものあり，難易度は高い。

問5 文章中に入れる適当なものを選ぶ問題。正答는떼려야 떼 수 없는(切っても切り離せない)。正答は，若干難易度が高い表現だが，誤答が全て学習範囲内であるため，正答にたどりつくことは可能。良問。

問6 文章中に入れる適当なものを選ぶ問題。正答는, 커피 전문점의 급속한 성장(コーヒー専門店の急速な成長)과 한국인 특유의 소통문화(韓国人特有のコミュニケーション文化)。良問。

問7 動詞の連体形の適切な用法を問う問題。正答는열린 공간(開かれた空間)。良問。

問8 下線部㉔「커피의 유혹」을 좀처럼 뿌리치지 못할 것(「コーヒーの誘惑」をなか

なか振り払うことはでないだろう)の理由を選ぶ問題。正答は①커피는 사람들 사이의 교류를 한층 촉진시키기 때문에 (コーヒーは人々の間の交流を一層促進させるので)下線部の뿌리치다가若干難易度が高い語彙と言えるが、前後の文章から意味を推測することは可能。良問と言える。

問9 本文全体のタイトルとして適当なものを選ぶ問題。正答は④。良問。

問10 本文の内容と一致するものを選ぶ問題。正答は, ②한국 사람들이 커피를 마시기 시작한 지 100년 이상이 지났다. (韓国人がコーヒーを飲み始めて100年以上が過ぎたと⑤커피는 한국 사회에서 원만한 인간관계를 형성하는 데 도움이 된다.

(コーヒーは韓国社会で円満な人間関係を築くのに役立つ)。文章を良く読めば正答を導くことができる。良問と言える。

### 3 ま と め

本年度の韓国語本試験の試験内容を詳しく見て来た。本委員会が評価の基準としたのは、受験者の平均点(158.51点)ではなく、一般の高校韓国語学習者が受験する際、適切な問題であるかどうかである。結論的に言うと、問題の形式、語彙や文法の難易度、分量とも高校学習者が受験するに値する問題であったと言える。この間、問題作成を担当なさった先生方は高校学習者が受験可能かつ適切な問題を作成するという点で、大変なご苦勞であったと思うが、大きく改善された。今後も今回の問題の質を維持していただければと思う。ただ1点、今後への提言ということでお願いしたいのは、第1問の発音問題についてである。詳細は各問へのコメントでも述べているので、省かせていただくが、韓国語にリスニングの問題が導入されていない現況において、コミュニケーション能力の中の「聴解」及び「正確な発音」を測定する問題として本問題を出題しているとする問題作成委員の意見は、ある種の妥協案の一つとして理解できなくはない。しかし、共通テストへの移行を経て、問題の質も大きな変化が求められる今、第1問のAに代表される、旧来の問題形式が残ることは、やはり好ましいとは言えない。問題作成委員の先生方には、今後、新たな形式の問題作成の研究及び出題をお願いするものである。